

## 2. 水道事業の概要

### 2-1. 事業の状況

深谷市は、埼玉県北西部、利根川と荒川に挟まれる地域がおおよその市域です。北部には利根川により形成された妻沼低地が広がり、南部は櫛引台地、江南台地が広がっています。平成18(2006)年1月1日に、旧深谷市、旧岡部町、旧川本町、旧花園町の1市3町が合併し、現在の姿となりました。

水道事業も市町村合併に伴い、これまでの各市町による経営から、事業統合により新たな深谷市水道事業となりました。平成18(2006)年度の実績は、給水人口144,091人、1日最大給水量66,561m<sup>3</sup>/日、普及率は97.3%で、水源の約70%を地下水で賄うという恵まれた環境にあります。なお、令和元(2019)年度の実績は、給水人口140,699人、1日最大給水量55,553m<sup>3</sup>/日、普及率は98.2%です。

### 2-2. 事業の歴史

#### ○ 旧深谷市水道事業

旧深谷市の前身である深谷町の水道は、昭和4(1929)年に、埼玉県下で2番目の早さで給水を開始しました。当初の給水人口は2,200余人でしたが、市の発展とともに水道施設は拡充され、第6期拡張事業まで行いました。

#### ○ 旧岡部町水道事業

旧岡部町の水道は、昭和40(1965)年に岡部村簡易水道事業としてスタートし、拡張工事を経て昭和45(1970)年には上水道事業となりました。昭和56(1981)年には町内の別の簡易水道事業を統合し、岡部町の水道を一本化しました。昭和61(1986)年には岡部浄水場が完成しました。

#### ○ 旧川本町水道事業

旧川本町の水道は、昭和46(1971)年に川本村南地区簡易水道事業としてスタートしました。昭和48(1973)年には、荒川北部に上水道事業が給水を開始し、昭和57(1982)年の認可で上水道に一本化されました。平成17(2005)年には合角ダムの安定水利権を取得しました。

○ 旧花園町水道事業

花園町は、昭和 53 (1978) 年に上水道として給水を開始し、平成 5 (1993) 年から県営水道の受水を開始しました。平成 17 (2005) 年には、全量受水となりました。

○ 市町合併後の深谷市水道事業

市町合併に合わせて水道事業の統合も行ったため、深谷市水道事業は平成 18 (2006) 年 1 月 1 日から新たな一歩を歩み始めました。

	
<p>平成 24 年 3 月 今泉配水場完成</p>	<p>平成 26 年 3 月 岡部浄水場拡張工事完成</p>
	
<p>平成 27 年 3 月 本田配水場完成</p>	<p>平成 27 年 9 月 川本浄水場 膜ろ過棟完成</p>
	
<p>令和元年 8 月 花園第二配水場ステンレス配水池完成</p>	<p>令和 2 年 皿沼浄水場更新工事状況</p>

### 2-3. 現在の水道施設 (H21(2009)時点)

現在の深谷市水道事業には、地下水を水源とする浄水場が5ヵ所、表流水を水源とする浄水場が1ヵ所あります。また、配水場、ポンプ場は5ヵ所あります。使用中の水源は、地下水(深井戸)が22ヵ所、表流水1ヵ所、埼玉県営水道の受水があります。

